

No.20 「宝物」

おはようございます。校長先生の声、届いてますか？梅の花が満開になってきました。とてもきれいですね。学校の梅の花は白いのは終わって、赤い梅が満開になってきました。どこにあるかな。また探してみてください。

さて今日は皆さんの大切なもの、宝物についてお話をします。では周りの人と、自分の宝物について少し聞きあってみましょう。

どんな宝物のお話しが出ましたか？Nintendo Switch ですか？それとも鬼滅の刃グッズでしょうか？宝物はお友達と言う人もいるかもしれませんがね。こういう宝物ももちろん大切だと思うのですが、今日校長先生が皆さんと考えていきたいのは、そうではなくて、自分だけにとっての宝物についてなんです。つまり、Nintendo Switch が宝物と言う人は多分世界中にたくさんいると思いますが、もちろん、それでもいいのです。でも今日は世界の中で、あなただけがその値打ちを知っている、とても大好きで、ほかと交換できない、掛け替えのないもので、でもひょっとしたら他の人が見ても、それがそんなにいいの？と言うようなものって、ありませんか？他の人からみてもたいして値打ちのないものでも、あなたにとっては大事なもののって1つぐらいあるんじゃないでしょうか。

実は校長先生にも小さい頃にありました。小学生の低学年の頃までは「てんちゃん」というのが宝物でした。てんちゃんって何かわかりますか？ヒントは青色をしています。わかんないですね。てんちゃんとは青いタオルなんです。どうも赤ちゃんの時から、いつもそれで手を拭いたり体を拭いたりしてたからでしょうか。いつの間にかそれがないと落ち着かないし、夜もにぎりしめて寝ていました。てんちゃんと名前をつけるぐらいのお気に入りでした。何度も何度も洗濯をして使っていたので幼稚園ぐらいにはボロボロになってた記憶があります。他の人から見たら、単なるぼろい

タオルなんです。校長先生にとってはなくてはならない宝物のタオルでした。そして、とうとうてんちゃんから卒業しなくてはならない日がきました。ぼろぼろすぎて、タオルというよりすこしふといひもみたいになってしまって、母親から「もう洗濯できへんしてんちゃん捨てるよ」と言われ大泣きしたことを覚えています。

みなさんにとっては、こういう宝物、ないでしょうか。もしかしたら、他の人に言うのも少し恥ずかしいかもしれませんがね。では今から自分の心の中で、自分だけの宝物ってなにかと考えてみてください。小さい時にあったかなと思い出してみてください。もちろん周りの人と聞き合っても構いませんよ。

どうですか？1つ位はあったんじゃないでしょうか。他の人から見たら取るに足らないような、でも自分のにとっては掛け替えのない宝物ってたぶんあるんじゃないでしょうか。

あなただけの大切な宝物は、授業中にもあります。そう、あなたの考えや疑問です。「ここちょっとわからないなあ」「わたしは、こう考えたんだけど…」「えっ、どうしてこんなふうになるの？」などなど授業中にはいろいろな考えや疑問がでます。全部宝物です。だから、それを発表したときに、他の人がとやかく言うのは少し違うと思います。そうではなく、どんな意見や疑問でも、「へー、あの子はそんなふうに考えたんだ。私とは違うなあ」「え？ぼくとは違う答えだけど、どうしたらその答えになるのかなあ」と、あたたかく受け止めてほしいのです。

そう、ひとの考えはみんな違ってみんな良いんです。一人一人が特別な宝物をいつも心の中にもっているのです。

それでは皆さんにとって大切な宝物を、もしよかったら校長室の前のボードに書きに来てください。今日も最後まで先生の話静静地に聞いてくれてありがとうございます。では今週もがんばっていきましょう。これで校長先生の話が終わります。